

国労本部電送No.213	発信日	発信 業務部	責任者	受領者
	2020年3月13日			

<貨物会社 2020 春闘回答速報>

## 社員の生活を鑑みない

## 「ベア・ゼロ」を回答

### 初任給を除き生活改善資金として

### 基本給に 200 円の積み増しをおこなう！

本日（3月13日 21時00分）、貨物会社は「2020年4月1日以降の賃金引き上げに関する申し入れ」（国労闘申第7号）に対し、「ベア・ゼロ」回答を行った。別途、生活改善資金として200円の積み上げを初任給以外に行うことを明らかにした。

国労要求とは大きく乖離した回答に対し、社員と家族の切実な生活実態と労苦に何ら応えるものではなことから、席上強く抗議を行った。

会社は「2019年度は「JR貨物グループ 中期経営計画 2021」の施策の具体化を中心とした見直しを行い、「JR貨物グループ 中期経営計画 2023」を策定して、更なる成長と発展に向けた具体策を実行してきた。

加えて、昨年4月1日に新たな人事制度を導入するとともに、定着させるための取り組みを進め、JR貨物グループの持続的発展に向けて着実に取り組んできたところであるが、相次ぐ台風の接近・上陸により、大きな輸送障害が続いた。社員の皆さんの尽力によりトラック・船舶による代行輸送や迂回運転に取り組んできたが、大幅な減収を余儀なくされ、下半期は、消費税率引き上げ、米中貿易摩擦等の影響で荷動きが悪く、輸送量が対前年マイナスとなり、鉄道事業は赤字の年度計画に改定せざるを得ない等、極めて厳しい経営状況に直面した。」として、「会社としても皆さんの安全・安定輸送の確保や災害対応のための取組み等を踏まえ、物価上昇に対する生活向上も考慮しつつ、今後の奮闘に期待し、2020年度の新賃金については、昇給額表に記載している等級及び評価に応じた昇給を実施するとともに、200円を加えることとする。」と回答した。

これに対し本部は、①. 今回の「ベア・ゼロ」回答は2年続けたベア実施を台無しにするだけでなく、災害による減収を社員に転嫁したものでしかない。②. 回答は生活改善を望む社員と家族の思いに背を向けるものであり、企業の社会的責任を放棄したものでしかな

い。③. この間、2年続けて経営の最大の目標としていた鉄道事業部門の黒字化を達成し、JR発足以来最高益の経常利益を上げている現状、また、来年度事業計画数値は最高益に匹敵する計画の下で、社員と家族の厳しい生活実態を直視しないものでしかない。④. 55歳以上の賃金改善を行わない姿勢は、この間経営幹部が「解決しなければならない最大の課題だ」「下げる理由はない」との認識を示してきたことから認めるわけにはいかない。⑤. 経営課題達成のため、昼夜を問わず懸命に働く社員に正当に還元しない姿勢は、日々安全輸送を最前線で支える社員感情を逆撫でするもので、若年退職が今なお続く今日の状況からも、経営責任を果たしているとは到底思えるものではなく、社員のやる気を削ぐやり方では安全問題にも関わる。一と強く抗議し再考を促した。

会社は、「貴側からの抗議については経営陣に伝える。ベアについてゼロ回答であるが、一部を除き基本給への積み上げを行っているものであり、最終回答である」とした。

本部は、今年度は台風による大きな被害があったにも関わらず、昨年度を大幅に上回る経常利益を見込み、来年度事業計画は過去の最高益に匹敵する利益確保を計画する中で、経営体力があるにも関わらず社員への当然の分配を行わない貨物会社の姿勢に対し、「経営課題を達成させてきているのは社員の日々の奮闘の結果であり、厳しい生活を続ける社員と家族の生活改善を図るのは企業の責務である」ことを指摘し、「この間、国労が指摘してきた構造矛盾の解決を先送りしてきた結果を社員に転嫁し続けることは断固認められない」と重ねて抗議し、本日の回答の取り扱いについては「持ち帰り検討する」とし交渉を終了した。

なお、本日の貨物会社の「ベア・ゼロ」回答に対して、闘争指示58号に基づき、直ちに抗議行動を展開することとする。

オープンは22時10分となるので、取り扱いには注意すること。

以 上

## 回 答 書

2020 年 3 月 13 日  
日本貨物鉄道株式会社

2019 年度の当社は「J R 貨物グループ 中期経営計画 2021」の施策の具体化を中心とした見直しを行い、「J R 貨物グループ 中期経営計画 2023」を策定して、更なる成長と発展に向けた具体策を実行してまいりました。

加えて、会社の発展の原動力である社員一人ひとりの持つ能力と意欲を最大限に発揮することが会社の持続的な発展につながるの考え方のもと、昨年 4 月 1 日に新たな人事制度を導入するとともに、定着させるための取り組みを進めてきました。

このように、J R 貨物グループの持続的な発展に向けて着実に取り組んできたところですが、9 月から 10 月にかけて相次ぐ台風の接近・上陸により、大きな輸送障害が続きました。特に台風 19 号による大雨では、東北線、武蔵野線、中央線が長期にわたり不通となり、社員の皆さんの尽力によりトラック・船舶による代行輸送や迂回運転に取り組みましたが、大幅な減収を余儀なくされました。下半期は、消費税率引き上げ、米中貿易摩擦等の影響で荷動きが悪く、輸送量が対前年マイナスとなり、鉄道事業は赤字の年度計画に改定せざるを得ない等、極めて厳しい経営状況に直面しました。

2020 年度のわが国経済は、海外の政治・経済情勢や消費税率引き上げ後の消費の落ち込み、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による経済活動の停滞やインバウンド消費の低迷等により、景気の減速が懸念されています。

このような状況のもと、当社は貨物鉄道事業の役割を発揮して、更なる収益性向上に努めて、鉄道事業を黒字として連結経常利益 100 億円以上の達成を目指していくとともに、今般竣工した「東京レールゲートWEST」を活用するなど「鉄道を基軸とした総合物流企業グループ」へと進化していかなければなりません。

社員の皆さんには、当社を取り巻く厳しい現状を十分に理解していただき、会社の更なる成長と発展に向け、「Challenge and Change ～挑戦、そして変革～」の精神で、歩みを止めることなく共に進んでいくことを期待します。

会社としても皆さんの安全・安定輸送の確保や災害対応のための取組み等を踏まえ、物価上昇に対する生活向上も考慮しつつ、今後の奮闘に期待し、2020 年度の新賃金については、昨年、一昨年のベアに引き続き、以下の通り実施することといたしました。

昇給額表に記載している等級及び評価に応じた昇給を実施するとともに、200 円を加えることとします。全社員一丸となり、頑張りましょう。

以 上